

新型コロナウイルスの状況下における
第62次南極地域観測に関する
基本的な考え方及び対応方針（案）
（補足説明資料）



医師 6 名（うち感染症の専門家 3 名）を含む「南極観測 COVID-19 対策 WG」を南極観測センターに設置して検討を進めており、現時点で、以下の対策等を検討中。今後対策を更に具体化し、隊員の安全の確保に努める。

1. 感染リスクを最小化するため、昭和基地方面に向かう隊の編成を最小限とする。
2. 準備期間中の予防策及び感染確認検査を徹底する。
3. 「しらせ」乗船は日本で行うこととし、乗船前に 2 週間の検疫期間を設け、PCR 検査を経たうえで、非感染を確認のうえ乗船させる。
4. 検疫期間前後に感染が確認された場合に備え、欠くことが出来ない職種については交代要員を準備し、同様に検疫措置をとる。
5. 船内で感染が疑われた場合に感染拡大を少しでもコントロールするために、隔離エリアを設けるとともに、船室は基本的に 1 人部屋とする。
6. 隊員か乗員かに関わらず船内で感染者が確認された場合は、船内で感染が流行しているものとみなし、当該航海を中断する措置をとる。

	A	A+α
日本出港	11/22	11/22
55度南下	12/13	12/13
LH湾沖定着氷縁着	12/17	12/17
第一便	12/21	12/21
接岸	12/23	12/23
最終便・離岸	1/22	2/1
55度北上	1/30	2/12
フリーマントル入港	—	2/18
フリーマントル出港	—	2/19
55度南下	—	2/24
55度北上	—	3/20
シドニー入港	—	3/25
シドニー出港	—	3/30
日本入港	2/24	4/16